

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地												
麻生公務員専門学校 福岡校	平成17年3月23日	竹口 伸一郎	〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-14-14 (電話) 092-415-2314												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地												
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町 3-83 (電話) 0948-25-5999												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士											
文化・教養	文化教養専門課程	公務員総合科	平成19年文部科学省告示 第21号	-											
学科の目的	公務員試験に必要な幅広い教養を基礎から身につけさせるとともに、総合的人格教育を通して「全体の奉仕者」たるにふさわしい人材へと成長をさせ、高卒程度公務員試験への合格を実現させる。														
認定年月日	平成29年2月28日														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単 位数	講義	演習	実習	実験	実技								
2年	昼間	1800時間	975時間	825時間	-	-	-								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数										
390人	515人	0人	14	11	25										
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 「教育目標」に応じた総合評価を行う。 評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。											
長期休み	■夏季:7月19日～8月22日 ■冬季:12月22日～1月8日 ■春季:2月16日～4月4日		卒業・進級 条件	(1)学則に定める当該学年の所定の科目を全て履修している者 (2)学年の出席率が90%以上である者											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学習方法相談、基礎学力補講、レベルアップ補講、 体力練成補講、面接指導など		課外活動	■課外活動の種類 各種部活動(サッカー、野球、バスケットボール、柔道他) ボランティアサークル ■サークル活動: 有											
就職等の 状況	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 各種国家公務員、地方公務員 ■就職指導内容 受験先情報提供、筆記試験対策、個別・集団面接対策、 集団討論対策、グループワーク対策など ■卒業生数 168 人 ■就職希望者数 144 人 ■就職者数 138 人 ■就職率 : 95.8 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 82.1 % ■その他 ・進学者数: 13人 (平成 29 年度卒業生に関する 平成30年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の番号 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 各種公務員試験(初級・高卒程度) 受験者数168人 最終合格者数141人				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数				
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数												
中途退学 の現状	■中途退学者 15 名 平成29年5月1日時点において、在学者 434名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者 423名(平成30年3月31日卒業生を含む) (注釈)上記両時点で在学者数が11名減少しているが、この内訳は下記のとおりである。 中途退学者: 15名(-) 転科者(転出): 14名(-) 転科者(転入): 18名(+) ■中途退学の主な理由 学習意欲喪失、進路変更、経済的事情、公務員試験合格など		■中退率 3.5 %	■中退防止・中退者支援のための取組 入学時や長期休暇明けの二者面談、進級時前後の三者面談、カウンセラーによる相談など											
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 ・東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象外														
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無														
当該学科の ホームページ URL	http://www.asoiuku.ac.jp/apfc/subject/total/														

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

近年では行政を取り巻く環境も著しく変化し、公務員として求められる人材も多様化、高度化している。また、公務員採用試験においても人物重視の傾向が顕著となり、一次試験に合格するための学力だけでなく面接試験を突破するための人間力が必要である。このような人材を育成するべく教育課程を編成するにあたっては、自治体における現場の声や求められる人材像、また自治体の課題等について深く学ぶ必要がある。

そのためにも、企業や各種団体等と連携し、また本校を卒業して現場で働いている学生らを活用して、現場での体験や机上では分かりづらい仕事内容、また現在の自治体の課題等について理解を深めていく。また、ボランティア活動を通じて自治体の課題を体験させ、現時点で自分が自治体のためにできることを考え実践させることで課題解決能力を伸ばす取り組みを行う。

これらを行うためにも、本校では、自治体に関する人事や自治体の課題等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会では、以下に示す事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置く。

教育課程編成委員会の意見は、校長代行が主宰する各学科のカリキュラム会議において検討し、カリキュラムの改善(授業科目の新設、改変や、授業方法の改善・工夫)などにできる限り反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
高橋 弘二	自衛隊福岡地方協力本部福岡地区隊 隊本部班長	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	③
中島 賢一	公益財団法人 福岡アジア都市研究所 調整係長	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	①
正木 顕	社会福祉法人福岡市社会福祉協議会 ボランティアセンター 副所長	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	①
竹口 伸一郎	麻生公務員専門学校福岡校 校長	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	
簗原 睦	麻生公務員専門学校福岡校 校長代行	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	
桑原 賢	麻生公務員専門学校福岡校 主任	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間開催数及び開催時期)

麻生公務員専門学校福岡校 公務員総合科においては、原則として年に2回、教育課程編成委員会を開催する。開催時期は、原則として第1回を9月、第2回を12月とする。

(開催日時)

平成29年度

第1回 平成30年3月7日 17:15～18:30 前年度・今年度カリキュラムの課題について

第2回 平成30年3月22日 17:00～18:30 第1回委員会でのご意見を受けて修正案説明

平成30年度

第1回 平成30年9月20日 17:00～18:30 前年度・今年度カリキュラムの課題について(予定)

第2回 平成30年12月5日 17:00～18:30 第1回委員会でのご意見を受けて修正案説明(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会において、「公務員としての根本的な志、地域社会への貢献・奉仕の精神、及び感謝心等を身につけさせる取り組みをしていただきたい。」との提言をいただいた。これを踏まえ、カリキュラム会議において、『教科：公務員リテラシー基礎B』の内容を改善する方向で検討を進めることとなった。

具体的には、第1回目の講義から各省庁・自治体の政策や実際の取り組み内容にフォーカスするとともに、早い回に公務員となった卒業生の活躍例などを通じ、公務員としての根本的な志を考えさせる時間を設定する。その後、全国の政策・取り組みの成功例研究などへ各論的内容へ広げる構成内容としている。

学生同士がフィールドワーク及びフィールドワークによって得た情報や体験を基に討議を重ね纏め上げ、最終的に官公庁職員、他学科教職員、保護者を招いたプレゼンテーション大会で発表し講評をいただくことで、より学修効果が深まる計画となっている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

近年、公務員の現場においては企画立案だけでなく、実際に自分が積極的に動ける人材が求められている。また、地域文化や行事の面でも、職員としてというよりも、自治体の構成員の一人として協働の精神が強く求められている。本連携においては、主に現場の実際の職員の取り組みや、それについての波及効果についての学びやグループディスカッション、発表等を通じて、これらの取り組みを応用発展させる能力を身につけることを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

授業科目の担当教員と企業・業界団体等の講師が事前の打ち合わせを行い、講義・演習内容、評価基準等について定める。適宜、企業から派遣された講師が講義を行うとともに、グループディスカッションの状況、レポートを確認し、助言を行う。演習終了後には、事前に定めた評価基準に従い、担当教員が成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
公務員リテラシー基礎B	公務員になるうえで求められる様々な資質のうち、特に各官庁・自治体での「求められる能力開発」の重要性に着目し、政策研究を深め、何のためにその能力が求められるのかを、理解し、さらにはそれらの学びに基づきグループディスカッションとプレゼンを行う。これらを通して、将来公務員として、自分自身がどのように仕事をしていくのか、いかに国家や地域社会に貢献していくべきかを学ぶ。	公益財団法人 福岡アジア都市研究所

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「学校法人麻生塾 教職員研修規程」に基づき、計画的に教員を研修に参加させる。

研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

公務員総合科においては、公務員採用試験についての知識やスキルを習得するため、官庁や自治体実施する各種説明会や各種団体の方による講習会等へ、積極的に教員を参加させる。さらに、特に新任教員を中心に、公務員採用試験動向の把握や、公僕としてふさわしい人材育成を可能にするための研修へも参加させている。

(3) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:「公務員面接指導研修会」(連携企業等:実務教育出版)

日程:2018年2月5日 13:00~14:30

内容:公務員試験における面接の留意点、職制別で求められる人材、具体的面接指導法

対象:12名

研修名:「初級本科研修会」(連携企業等:株式会社 実務教育出版)

日程:2018年2月1日~2月2日

内容:他校の運営・指導等の情報収集、授業受講による気づき振り返り、国家公務員採用状況講演

対象:3名

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「カウンセリング I」(連携企業等:日本交流分析協会)

日程:2017年5月17日 16:00~17:30

内容:カウンセリングにおける傾聴の技法、体験学習、個別面談の心得

対象:2名

研修名:「個人の成長と連携・協働がもたらす組織成長」(連携企業等:ココロデザイン株式会社)

日程:2018年1月30日 16:00~17:30

内容:組織とコミュニケーション、対話のやり取り、対話を円滑にする4タイプの分類、
クラス運営における人的特性の理解

対象:12名

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:「初級本科研修会」(連携企業等:株式会社 実務教育出版)

日程:2019年2月

内容:他校の運営・指導等の情報収集、授業受講による自己授業の振り返り、国家公務員採用状況講演

対象:教員

研修名:「国家公務員採用説明会」(連携企業等:人事院九州事務局)

日程:2019年3月

内容:2019年実施国家公務員試験実施における変更留意情報収集

対象:教員

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「カウンセリング I」(連携企業等:日本交流分析協会)

日程:2018年4月25日 16:00~17:30

目的:体験学習をとおして、傾聴の意義と技法と技法を習得する(新任教員対象)

内容:カウンセリングにおける傾聴の技法、体験学習、個別面談の心得

対象:教員

研修名:「インストラクショナルデザイン II」(連携企業等:一般社団法人全国専門学校教育研究会)

日程:2018年8月29日 9:00~17:30

目的:育成人材像に基づいた体系的カリキュラムの構築を習得する

内容:3ポリシーについて、学目的・教育目標の整理、学科カリキュラムの見直し・改善

対象:教員

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育人人材像、他
(2) 学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5) 学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11) 国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

① 本校学生の「挨拶」を含む人物面の指導に関する事項

人物面の指導につき非常に良い取り組みを行われており、学生に対して好印象を持っている。との意見をいただく。学生に対しては、入学後早い段階より実施しているグローバルシティズン教育を中心としたマナー教育を継続する。また保護者に対しても人物指導をより有益とするために、入学後早期に実施する説明会において、学内ルールを始めとした各種情報の共有を実施していく。

② 教職員からの意見等収集の仕組みに関する事項

意見等がより発信・収集されやすい仕組みを検討されては如何でしょうか。との意見をいただく。既存の各種会議を恒常的に開催し内部コミュニケーションを充実することに加え、フレキシブルに上長に意見等を上申できる仕組みの整備を検討する事とした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
高橋 弘二	自衛隊福岡地方協力本部福岡地区隊 隊本部班長	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	企業関係者
中島 賢一	公益財団法人 福岡アジア都市研究所 調整係長	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	企業関係者
正木 顕	社会福祉法人福岡市社会福祉協議会 ボランティアセンター 副所長	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	企業関係者
大坪 洋二	久留米学園高等学校 教頭	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	高等学校 関係者
川藤 勝治	福岡市博多区博多駅南2丁目4区自治会 自治会長	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	地域住民
松尾 宝代	公務員総合科 在校生 保護者	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	在校生 保護者
末武 勝信	公務員総合科卒業生 (福岡市 学校事務職員)	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 (任期1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/>

公表時期: 平成29年9月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、ASOの考え方、3つの強み
(2)各学科等の教育	学科コース一覧、合格実績、入学案内
(3)教職員	教員一覧
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	グローバル教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(学生便覧))

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/apfc/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 公務員総合科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			社会科学講義基礎	公務員採用試験に出題される政治・経済について学び、また確認のため演習を行う。	1前後	90	6	○	△		○		○		
○			人文科学講義基礎	公務員採用試験に出題される日本史・世界史・地理について学び、また確認のため演習を行う。	1前後	135	9	○	△		○		○	○	
○			自然科学講義基礎	公務員採用試験に出題される物理・化学・生物・地学について学び、また確認のため演習を行う。	1前後	105	7	○	△		○			○	
○			文章理解講義基礎	公務員採用試験に出題される文章理解について学び、また確認のため演習を行う。	1前後	60	4	○	△		○		○		
○			判断推理講義基礎	公務員採用試験に出題される判断推理について学び、また確認のため演習を行う。	1前後	90	6	○	△		○		○	○	
○			数的推理講義基礎	公務員採用試験に出題される数的推理について学び、また確認のため演習を行う。	1前後	90	6	○	△		○		○	○	
○			資料解釈講義基礎	公務員採用試験に出題される資料解釈について学び、また確認のため演習を行う。	1後	15	1	○	△		○		○		
○			適性知識演習基礎	公務員採用試験で課される適性試験の問題を毎日実施し、また、各授業で学んだ知識を確認するためのテスト等を行う。	1前後	150	10			○	○		○		
○			公務員リテラシー基礎A	公務員の職種理解、試験制度理解を図り、公務員になる上で必要となる実践的な知識を得る。また、公務員試験の模擬試験や過去問演習などを行う。	1前後	105	7	△	○	△	○	△	○		
○			公務員リテラシー基礎B	学生が自らテーマを持ち、公務員の仕事に関することを考え、グループで調査する職種研究ゼミを行う。	1後	15	1	△	○	△	○	△	○		○
○			G C B I	麻生塾全体で推進する「感謝と志」をテーマとして、社会人としてのマナー教育を行うと同時に、職業観について学ぶ。	1前	15	1	○			○		○		

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 公務員総合科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネス実務基礎	社会人としてより役立つ人材となるべく、パソコンおよびペン字についての基礎的な能力を身につける。	1後	30	2	△	○		○			○	
○			社会科学講義実戦	1年次に学んだ社会科学を復習し、問題演習を通じて知識の定着・深化を図る。	2前	45	3	○	△		○			○	
○			人文科学講義実戦	1年次に学んだ日本史・世界史・地理を復習し、問題演習を通じて知識の定着・深化を図る。	2前	75	5	○	△		○			○	○
○			自然科学講義実戦	1年次に学んだ自然科学を復習し、問題演習を通じて知識の定着・深化を図る。	2前	60	4	○	△		○			○	○
○			文章理解講義実戦	現代文の問題演習を通じて文章を理解する力をつける。	2前	30	2	○	△		○			○	
○			判断推理講義実戦	1年次に学んだ判断推理を復習し、問題演習を通じて知識の定着・深化を図る。	2前	30	2	○	△		○			○	
○			数的推理講義実戦	1年次に学んだ数的推理を復習し、問題演習を通じて知識の定着・深化を図る。	2前	30	2	○	△		○			○	
○			適性知識演習実戦	公務員採用試験で課される適性試験の問題を毎日実施し、また、公務員採用試験に向けた実戦的知識の定着を図る。	2前	75	5		○		○			○	
○			G C B II	麻生塾全体で推進する「志」をテーマとして、社会人としてのマナー教育を行うと同時に、職業観について学ぶ。	2前	15	1	○			○			○	
○			公務員リテラシー実戦	公務員の職種理解、試験制度理解をさらに深めるとともに、自らの職業観、公務員としての将来像を自らの言葉で話せるようになるための準備を行う。	2前	30	2	△	○		○			○	
○			総合演習実戦	模擬試験やそれに準ずる形式での問題演習を行い、履修内容について実戦的な知識定着を図ると同時に、時間配分等について実戦的感覚を見につける。	2前	45	3		○		○			○	

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 公務員総合科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			総合演習 解説講義 実戦	模擬試験やそれに準ずる形式での問題を題材に知識の総復習や解法の再確認を行う。	2前	30	2	○			○		○		
○			教養演習 実戦	公務員採用試験で課される科目全般について実戦的問題演習を行う。	2前	60	4		○		○		○		
○			模擬試験 演習実戦	過去に実施された公務員採用試験問題を用いて本試験同様の問題演習を行い、知識の最終確認を行うとともに、本試験に向けたシミュレーションを行う。	2前	180	12		○		○		○		
○			模試解説 講義実戦	過去に実施された公務員採用試験問題を題材に知識の総復習や解法の再確認を行う。	2前	60	4	○			○		○		
○			ビジネス 実務実戦	社会人・公務員として真に社会に役立つ人材になるべく、実社会において求められる様々なスキルやマナーを学ぶ。	2後	75	5	△	○	△	○		○	○	
○			集中講義 実戦	公務員試験直前期に、SPIなど就職試験問題演習や、個別面接、集団面接に向けた模擬面接を行う。	2前	60	4		○		○		○		
合計				28 科目							1800 単位時間		(120 単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
(1) 学則に定める当該学年の所定の科目を全て履修している者 (2) 学年の出席率が90%以上である者 上記を満たさない者は卒業判定会議にて判定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週